

経営比較分析表

佐賀県 神埼市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	1.83	100.00

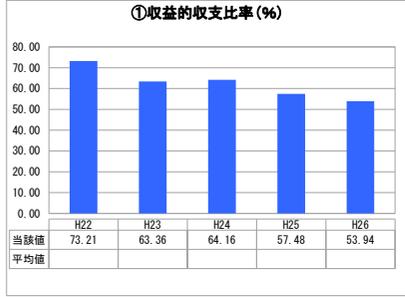
1か月20m³当たり家庭料金(円) 3,780

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
32,569	125.13	260.28
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
593	0.20	2,965.00

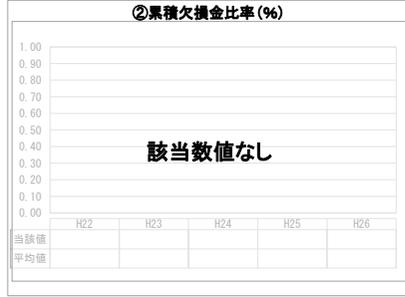
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

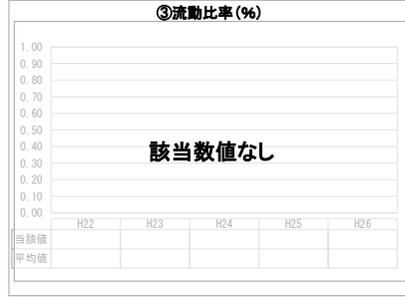
1. 経営の健全性・効率性



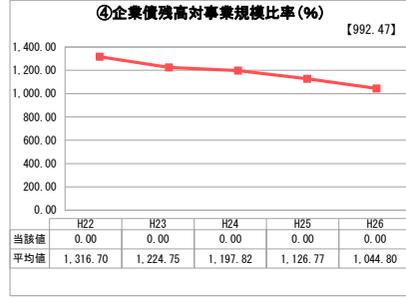
「単年度の収支」



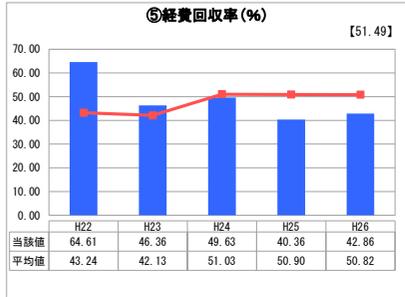
「累積欠損」



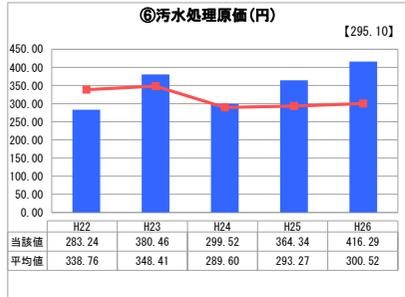
「支払能力」



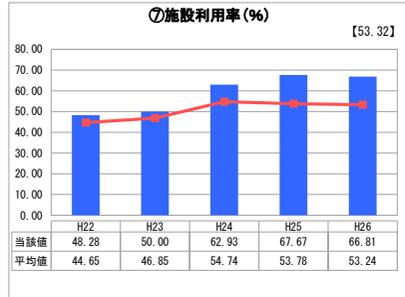
「債務残高」



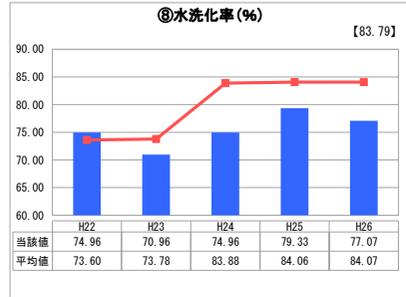
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

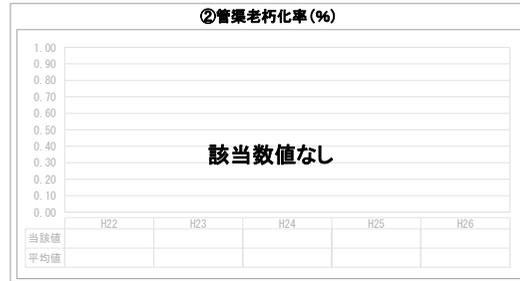


「使用料対象の捕捉」

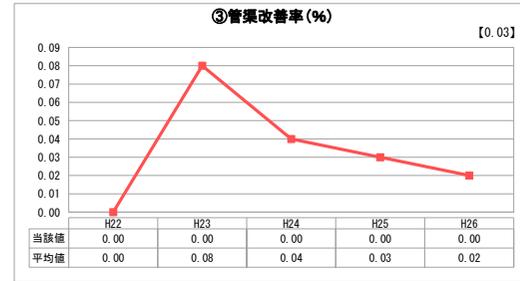
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率については、平成22年度決算から、年々減少しながら推移している。また、比率が100%未満のため収支が赤字であることを示しているため、今後は、費用削減等を行い経営改善に努める必要がある。

経費回収率については、経年比較をみると、やや減少傾向にある。類似団体平均値と比較すると、平成24年度決算では同水準であったものの、その後は平均値を下回って推移している。

汚水処理原価については、類似団体平均値と比較すると、高い水準で推移している。また、経年比較をみると、平成24年度以降は増加傾向である。

施設利用率については、類似団体平均値と比較すると、高い水準で推移している。経年比較をみると、平成25年度までは増加傾向であったが、平成26年度には減少した。今後は、開発等による処理区域内人口の増加が見込めないため、経営の健全化のためには公共下水道への繋ぎ込みが必要である。

水洗化率については、類似団体平均値と比較すると、低い水準で推移している。経年比較を行うと、平成25年度までは増加傾向であったが、平成26年度には減少した。今後は、開発等による処理区域内人口の増加が見込めないため、経営の健全化のためには公共下水道への繋ぎ込みが必要である。

2. 老朽化の状況について

平成10年3月31日に供用開始を行い、17年を経過している。管渠改善率については、これまで管渠の更新等は行っていないため、数値は計上されていない。また、老朽化の対策として、今後数年以内に近隣まで整備された公共下水道への繋ぎ込みを計画しているため、公共下水道区域として市全体の管路の改修等計画を盛り込んで長寿命化計画の策定をすることで、市民生活に大きな支障が出ないよう老朽化の対応に取組むことが必要である。

全体総括

収益的収支比率において収支が赤字であり、費用削減等による経営改善に努める必要があるが、処理区域の人口については減少傾向であるため、水洗化率の増も見込めない。経費回収率は50%を下回っている状況であり、経営改善には今後数年以内に近隣まで整備された公共下水道への繋ぎ込みを計画しているため、これにより汚水処理施設の維持管理費削減を図りたい。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。